

# 令和4年度 事業報告



# 国際赤十字・赤新月運動の基本原則

1965年(昭和40年)にウィーンで開催された第20回赤十字国際会議で、「赤十字基本原則」が決議され、宣言された。

赤十字基本原則は、赤十字の長い活動のなかから生まれ、形作られたもので、「人間の生命は尊重されなければならないし、苦しんでいる者は、敵味方の別なく救われなければならない。」という「人道」こそが赤十字活動の基本で、他の原則は「人道」の原則を実現するために必要となるものである。

## 人 道 (Humanity)

国際赤十字・赤新月運動(以下、「赤十字・赤新月」という。)は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的及び国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保することにある。赤十字・赤新月はすべての国民間の相互理解、友情、協力及び堅固な平和を助長する。

## 公 平 (Impartiality)

赤十字・赤新月は、国籍、人種、宗教、社会的地位又は政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字・赤新月は、ただ苦痛の度合いにしたがって個人を救うことに努め、その場合、最も急を要する困苦をまっさきに取り扱う。

## 中 立 (Neutrality)

すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字・赤新月は、戦闘行為の時にずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも、政治的、人種的、宗教的又は思想的性格の紛争には参加しない。

## 独 立 (Independence)

赤十字・赤新月は独立である。各国赤十字社・赤新月社は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律にしたがうが、つねに赤十字・赤新月の諸原則にしたがって行動できるようにその自主性を保たなければならない。

## 奉 仕 (Voluntary Service)

赤十字・赤新月は、利益を求めない奉仕的救護組織である。

## 単 一 (Unity)

いかなる国にもただ一つの赤十字社・赤新月社しかありえない。赤十字社・赤新月社は、すべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行わなければならない。

## 世 界 性 (Universality)

赤十字・赤新月は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社・赤新月社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。

## はじめに

日頃より赤十字事業推進につきまして、関係者各位、県民の皆様におかれましては、ご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

令和4年度を振り返りますと、ウクライナ人道危機が勃発し1年が過ぎましたが、終わりが見えず激しさを増しております。さらに2月6日にトルコ・シリアの国境付近で大地震が発生、3月18日には南米エクアドルにおいても大地震が発生し、多くの尊い命や故郷が失われ、心の傷を負いました。

国際赤十字、赤新月社連盟、赤十字国際委員会をはじめ赤十字、赤新月社が世界中の支援を受け救護活動を展開し多くの命を救い続けております。

猛威を振るった新型コロナウイルスは、感染対策の徹底により、徐々に以前の生活を取り戻しつつある状況の中、5月に全国赤十字大会が皇后陛下ご臨席のもと3年振りに開催、7月には、日本赤十字社社長が交替し、新しい役員体制がスタートしました。

愛媛県支部では参集での評議員会を開催、評議員の方々のご意見を拝聴することができました。11月には青少年赤十字創設100周年を迎え、記念大会を開催しました。また、災害時に救護所となるエアテントや担架、折りたたみベッドを整備し、災害救護資機材の充実を図りました。

また、松山赤十字病院では、耐震構造とし、最新医療機器を備え585床の療養環境、ICU、HCUを20床と増床、高度な急性期医療を担うべく、8年越しの建替え工事を経て12月にグランドオープンしました。

愛媛県赤十字血液センターにおいても、7月に献血運動推進全国大会が本県で48年振りに開催されました。また、献血会場でのスムーズな案内を行うためWeb会員サービス「ラブラッド」の利便性を充実させ、献血の予約や、事前問診が可能となりました。輸血用血液製剤の赤血球製剤においては、3月より有効期限が従来の21日から28日に延長され、善意でいただいた血液の有効利用が期待されております。

私たちの活動は皆様からの活動資金により支えられております。地区分区、自治会、赤十字ボランティア関係者の協力のもと、今後起こるであろう災害に備え、救護体制強化、救急法等各種講習会、赤十字ボランティア活動、青少年赤十字活動に積極的に取り組んでまいります。

ここに、令和4年度の事業報告にあたり、関係各位にあらためて感謝の意を表するとともに、今後ともご支援とご協力をお願い申し上げます。

令和5年6月

日本赤十字社愛媛県支部

# 目 次

1. 災害救護	1
2. 救急法等の講習	6
3. 赤十字奉仕団、ボランティア活動	15
4. 青少年赤十字	17
5. 国際活動	21
6. 医療事業	22
7. 血液事業	23
8. 赤十字思想の普及・広報	24
9. 会員、活動資金	24
10. 役員、評議員会	26
11. 令和4年度一般会計歳入歳出決算概要	28

# 1. 災害救護

災害救護業務は、赤十字の性格と使命上最も重要な事業の一つであります。

このことは、日本赤十字社法(昭和 27 年法律第 305 号)にも明示され、かつ災害救助法(昭和 22 年法律第 118 号)において、国または都道府県知事の行う救助業務に協力するよう義務付けられ、さらに災害対策基本法(昭和 36 年法律第 223 号)により、指定公共機関として防災に関する各種計画とその実施の責任を負っています。

令和 4 年度も、地震や台風、集中豪雨などが多発しました。当支部でも災害に備え、資器材の整備を行うほか、研修会や訓練の実施・参加をしました。

## (1) 救護員育成

### ①救護員研修会

日本赤十字社における救護活動の位置づけ及び赤十字救護員の役割を認識し、今後の赤十字救護活動が迅速に遂行できるよう、共通認識を図るとともに、災害発生時における救護体制の確立を図ることを目的として、松山赤十字病院と協力し、次のとおり開催しました。

開催日及び受講者数

9 月 23 日 (土) 52 名

10 月 22 日 (土) 54 名

開催会場及び内容

- ・開催会場 松山赤十字病院
- ・内 容 カードトリアージ  
トリアージタグの書き方  
S T A R T 法による一次トリアージ及び P A T 法  
通信機器の取り扱い  
資器材の取り扱い  
救護所内活動 等



## ②救護員の訓練

### 1) 愛媛県総合防災訓練

- ・開催日 8月27日(土)
- ・開催会場 内子町運動公園総合グラウンド
- ・参加者 支部2名(救護班は新型コロナウイルス感染症の影響により不参加)
- ・内容 大雨と地震による複合災害が想定した救護訓練

### 2) 松山市総合防災訓練

- ・開催日 10月30日(日)
- ・開催会場 松山市東雲小学校・松山市立西中学校
- ・参加者 救護班一個班6名及び支部1名
- ・内容 南海トラフを震源とした巨大地震を想定した救護訓練

### 3) 日本赤十字社中国・四国ブロック各県支部合同災害救護訓練

- ・開催日 11月5日(土)・6日(日)
- ・開催会場 日本赤十字社広島県支部
- ・参加者 日赤災害医療コーディネーター1名及び支部職員1名
- ・内容 日赤災害医療コーディネートチーム連絡会議として開催



## (2) 救護員の登録・編成状況

「日本赤十字社愛媛県支部防災計画」に基づき、災害が発生した場合、その規模等に応じて、前述のとおり被災地に救護班を派遣し、被災者の医療救護に当たります。当支部では、支部及び松山赤十字病院、愛媛県赤十字血液センターの救護員からなる災害対策本部要員、血液供給要員(2班)、常備救護班要員(8班)を次のとおり編成し、救護体制をとっています。

なお、現場の状況に応じて、愛媛県安全赤十字奉仕団、愛媛県アマチュア無線赤十字奉仕団等特殊奉仕団及び防災ボランティアの応援協力を受けることとしています。

- ①日本赤十字社愛媛県支部災害対策本部要員 11名
- ②日本赤十字社愛媛県支部常備救護班 48名  
(医師8名・看護師長8名・看護師16名・主事16名)
- ③日本赤十字社愛媛県支部血液供給要員 4名



### (3) 救護資機材の整備状況

当支部は、円滑な救護活動を展開するため、下記救護資器材の更新整備を行いました。

- ・救護所用エアートント 1 式
- ・救護所用折り畳みベット 12 台
- ・救護用ストレッチャー 2 台
- ・救護所用アシストストレッチャー 1 台

### (4) 救援物資の整備状況

#### ①災害救護物資・災害見舞金・災害死亡者弔慰金

災害救護物資については、災害により、住家の全焼・全壊・流失等の被害を受けた場合、毛布を原則として被災者 1 人に 1 枚、緊急セットを原則として被災世帯 1 世帯に 1 個配布しています。

また、災害見舞金については、自然災害により住家が全焼・全壊・流失した世帯に対し、1 世帯につき見舞金 20,000 円を贈呈し、災害死亡者弔慰金については、住家の自然災害及び火災に起因する損壊(床上浸水・床下浸水含む)により死亡した場合、1 名につき弔慰金 20,000 円を贈呈しています。※災害見舞金及び災害死亡者弔慰金の贈呈については県内に災害救助法(昭和 22 年 10 月 18 日付法律第 118 号)が適応された場合、事件性がある場合は適応除外となります。

贈呈状況は次のとおりです。

市町名	毛布(枚)	緊急セット(個)	安眠セット	タオルケット	弔慰金(円)
松山市	19	6			80,000
今治市	4	7			
宇和島市	0	0			40,000
八幡浜市	2	2			
新居浜市	23	9			20,000
西条市	6	0			
大洲市	2	2			20,000
伊予市	1	0			
四国中央市	0	2			

西予市	1	7			
東温市	3	3			20,000
内子町	6	2			20,000
伊方町	0	0			20,000
鬼北町	1	1			20,000
愛南町	1	1			20,000
合計	0	0	0	0	260,000

#### (5) 防災ボランティアの養成状況

##### 赤十字防災ボランティア研修会（令和4年度中止）

災害時に赤十字が実施する医療救護活動、救援物資の配布、情報収集や伝達、安否確認等の救護活動を側面から支援をするため、愛媛県支部に登録している赤十字防災ボランティアの災害時における知識等の育成を目的に実施しています。

なお、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

#### (6) 災害義援金の受付状況

国内各地で発生した災害に対し、義援金を受け付けました。集められた義援金は全額、各被災都道府県に設置された義援金配分委員会に送金され、同委員会で定める配分基準に従って被災者に届けられます。

##### ■義援金受付状況（令和4年度愛媛県支部受付分）

名称	件数（件）	金額（円）
平成30年7月豪雨災害義援金（本社取扱）	6	4,585,472
平成30年7月豪雨災害義援金（愛媛）	8	167,190
令和4年3月福島県沖地震災害義援金	1	21,194
令和4年7月大雨災害義援金	1	1,041

#### (7) 防災・減災の取組み（赤十字防災セミナー、支部独自セミナー）

##### 日本赤十字社防災教育事業

日本赤十字社は、全国各支部において「日本赤十字社防災教育事業」を行っています。本事業は、過去の災害の教訓を生かし、将来発生が予測される大規模災害から、人々のいのちを守るために、地域コミュニティにおける「自助」「共助」の知識等を高めるために地域住民や赤十字奉仕団を対象とし、実施しています。

実施状況は次のとおりです。

	開催日	場 所	参加者数
1	5月16日	愛媛県立農業大学校	35
2	6月16日	愛媛県立松山北高等学校	1119
3	6月7日	松野町吉野生交流センター	12



4	7月18日	愛媛県支部	10
5	8月24日	愛媛県支部	4
6	9月2日	愛媛県支部	39
7	9月8日	愛媛県支部	35
8	9月15日	愛媛県支部	46
9	9月12日	松山市総合福祉センター	30
10	9月26日	和気公民館	12
11	9月28日	今治市立朝倉中学校	66
12	10月4日	愛媛県支部（オンライン）	161
13	10月17日	松原集会所	25
14	10月19日	今治市立立花中学校	120
15	10月23日	岩城北集会所	32
16	11月28日	堀江公民館	15
17	12月12日	東大栗集会所	11
18	3月7日	川西高齢者福祉センター	34
合 計			1,806

なお、日本赤十字社防災教育事業のほか、愛媛県支部独自の内容で実施する防災講座9回開催しており、544名の受講がありました。

### （8）臨時救護

愛媛県支部では、西日本最高峰の石鎚山お山開きや、多数の人々が集まって行われる行事等などにおいて、臨時救護所を開設し看護師等の派遣を行っています。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により派遣を予定していた行事が中止となったものがあります。

実施状況は次のとおりです。

行 事 名	派遣日	日数	派遣救護員延人数			取扱患者	備考
			看護師	主事	ボランティア		
愛媛県護国神社春季慰霊大祭	—	—	—	—	—	—	中止
石鎚山お山開き	成就社	7月1日	1	3	0	0	
	成就社	7月3日	1	3	0	0	2
	成就社	7月10日	1	3	0	0	3
	土小屋	7月1日	1	2	2	0	0
	土小屋	7月3日	1	2	2	0	1
	土小屋	7月10日	1	2	2	0	0

愛媛県護国神社秋季慰霊大祭	—	—	—	—	—	—	中止
松山野球拳おどり	8月12日	1	1	0	0	2	
松山野球拳おどり	8月13日	1	1	0	0	0	
愛媛大会愛媛スポーツ・レクリエーション祭	10月22日	1	1	0	0	0	
愛媛大会愛媛スポーツ・レクリエーション祭	10月29日	1	1	0	0	0	
愛媛大会愛媛スポーツ・レクリエーション祭	11月6日	1	1	0	0	0	
愛媛県人権・同和教育研究大会	11月1日	1	1	0	0	0	
合 計		12	21	6	0	8	

## 2. 救急法等の講習

救急法、健康生活支援講習、幼児安全法、水上安全法等の各種講習を赤十字基本原則である「人道」を具現化する重点事業として推進しており、日本赤十字社愛媛県支部救護装備・救援物資保管倉庫講習会場で定期開催をするほか、ボランティア指導員等の協力を得て県下各地においても開催しました。

### (1) 各講習の活動概要（地域包括ケアにかかる活動を含む）

#### ①ワールドファーストエイドデー

救急法等講習やボランティア活動等を多くの人に知ってもらい、併せて赤十字をより身近に感じてもらうことを目的として、開催を計画しておりましたが新型コロナウイルス感染症の影響により中止としました。

#### ②みんなDE防災トライアル

災害に対する自助・共助の意識向上を図るため、家庭や地域で日頃から備えておくべきことなどの防災講座及び非常炊き出し、応急手当等を実際に体験することにより「自助」の重要性を理解することを目的で開催しました。

- ・開催日 令和5年7月30日（日）10時～15時30分
- ・開催場所 日本赤十字社愛媛県支部
- ・参加者 13名

#### ③救急法

日常生活における事故防止の知識と思わぬ事故や災害でけがをした人や急病になった人に対して、医師や救急隊に引き継ぐまでの救命手当や自動体外式除細動器(AED)の使用法及び応急手当の普及に努めました。



1) 基礎講習

番号	開催日	場 所	受講者数
1	5月7日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	15
2	6月4日	日本赤十字社愛媛県支部講習室 カーブス枝松	38
3	6月17日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	19
4	6月21日	愛媛県消防学校	30
5	7月3日	今治市消防本部	1
6	7月7日	児童養護施設あすなろ学園	10
7	8月9日・8月10日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	18
8	8月22日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	38
9	8月29日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	41
10	9月5日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	37
11	9月12日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	41
12	9月16日	聖カタリナ大学 サルーテ講義室	8
13	9月30日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	19
14	10月21日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	14
15	10月26日	松山学院高等学校	30
16	11月2日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	17
17	11月15日	松山学院高等学校	25
18	11月22日	松山学院高等学校	34
19	12月1日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	17
20	12月7日	松山学院高等学校	24
21	1月9日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	17
22	2月7日	フィットエミフル松前店	5
23	2月19日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	18
24	2月24日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	16
25	3月17日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	6
合 計			538

2) 救急員養成講習

	開催日	場 所	受講者数
1	5月28日・29日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	10
2	6月23日・24日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	6
3	8月16日～19日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	5
4	8月23日～26日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	37
5	8月30日～9月2日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	39
6	9月6日～8日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	35
7	9月13日～15日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	46
8	10月1日・2日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	20
9	11月9日・10日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	15
10	12月15日・16日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	17
11	3月14日・15日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	22
合 計			252

3) 指導員養成講習

	開催日	場 所	受講者数
1	1/22・28・29・2/4・5	日本赤十字社愛媛県支部講習室	8
合 計			8

4) 短期講習

番号	開催日	場 所	受講者数
	4月3日	松山市西側集会所	中止
1	4月10日	愛媛県ダンス教師協会	12
2	5月3日	ソルファ小田スキー場及び周辺林道	14
3	5月6日	松山コミュニティセンター	21
4	5月10日	新居浜市山根公園屋内プール	126
5	5月12日	伊方スポーツセンター	32
6	5月16日	愛媛県立農業大学校	35
7	5月17日	愛媛県立松山商業高等学校	38
8	5月20日	宇和島南中等教育学校	48
9	5月27日	学校法人 愛光学園	33
10	6月1日	新居浜公民館	15
11	6月1日	砥部町立麻生小学校	25
12	6月1日	今治市立常盤小学校	31
13	6月2日	愛媛大学附属小学校	30
14	6月7日	松野町社会福祉協議会	12
15	6月13日	松山大学 薬学部	28
16	6月15日	まつやまファミリーサポートセンター	21
17	6月16日	松山市立松山南中学校	57

18	6月16日	松山市立松山南中学校	60
19	6月22日	愛媛大学附属特別支援学校	20
20	6月23日	東温市立上林小学校	44
21	6月23日	八幡浜市川上地区公民館大ホール	25
22	6月27日	松山大学 薬学部	32
23	6月27日	愛媛県立北条高等学校	17
24	6月28日	愛媛県立松山南高等学校	27
25	6月29日	松山市立松山南中学校	62
26	6月29日	松山市立松山南中学校	31
27	6月30日	松野町立松野中学校	86
	7月13日	伊方町立三机小学校	中止
28	7月13日	愛媛県立北条高等学校	18
29	7月23日	河原医療福祉専門学校	12
30	7月23日	河原医療福祉専門学校	12
31	8月17日	愛媛研修所	44
32	8月24日	愛媛研修所	46
33	8月24日	日赤愛媛県支部3F講習会場	4
34	8月25日	松山東雲中学高等学校	29
35	8月25日	愛媛県立松山中央高等学校	26
	8月27日	小野公民館	中止
36	8月31日	愛媛研修所	41
37	8月31日	ホテル古湧園	20
38	9月6日	松山市立雄新中学校	181
39	9月7日	愛媛研修所	46
40	9月8日	松山市立雄新中学校	205
41	9月9日	松山市立雄新中学校	184
42	9月11日	新田高等学校	13
43	9月14日	愛媛研修所	41
44	9月27日	愛媛県警察本部 高速道路交通警察隊	34
45	9月28日	今治市立朝倉中学校	34
	10月7日	八幡浜市大島地区公民館	中止
46	10月11日	今治市立常盤小学校	88
47	10月14日	新居浜市内	28
48	10月19日	今治市立立花中学校	120
49	10月22日	砥部町 和霊神社集会所	7
50	10月23日	岩城北集会所	35
51	10月25日	しもなだ体育館	57
52	10月30日	小松中央公園	26
53	11月7日	八幡浜市大島地区公民館	18
54	11月9日	松山市立垣生中学校	28

55	11月11日	松山市立北中学校	130
56	11月16日	県民文化会館分館	27
57	11月17日	まつやまファミリーサポートセンター	22
58	11月24日	伊方町立伊方小学校	74
59	11月29日	四国中央市立金生第一小学校	64
60	12月5日	四国中央市立三島小学校	71
61	12月10日	日本赤十字社愛媛県支部	25
62	12月13日	四国中央市立寒川小学校	59
63	12月20日	四国中央市立中曾根小学校	57
	1月6日	松山学院	中止
64	1月28日	河原医療福祉専門学校	12
65	1月28日	河原医療福祉専門学校	12
66	1月31日	四国中央市立松柏小学校	81
67	2月16日	愛媛トヨペット空港通店	19
68	2月16日	新居浜市垣生公民館	42
69	2月28日	住鋤物流	27
70	3月9日	住鋤物流	24
71	3月10日	住鋤物流	28
72	3月13日	愛媛大学医学部看護学科	21
合計			3,174

#### ④ 水上安全法

水と親しみ、水の事故から命を守るため、泳ぎの基本と自己保全、事故防止、溺れた人の救助方法や応急手当の知識と技術の普及に努めました。



##### 1) 救助員養成講習 I・II

番号	開催日	場 所	受講者数
1	7月16日・17日	日本赤十字社愛媛県支部講習室 松山大学御幸キャンパスプール	22
2	7月29日・30日	伊予市五色浜海水会場	6

3	2月14日・21日・28日	フィッタエミフルMASAKI	5
合計			33

## 2) 短期講習

番号	月 日	場 所	受講者数
1	5月6日	松山市総合コミュニティセンター 温水プール	21
2	5月10日	新居浜市山根公園内プール	126
3	5月12日	伊方スポーツセンター	32
4	5月26日	松山市総合コミュニティセンター 温水プール	76
5	6月1日	砥部町麻生小学校	25
6	6月21日	アズサスポーツ松山	30
7	6月28日	アズサスポーツ松山	32
8	7月19日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	10
合計			352

## ⑤健康生活支援講習

病気や障害等があっても、その人のできることを最大限に活かし、人としての尊厳を保ちながら、健やかな老齢期を過ごす、そのために健康の増進、病気の予防及び高齢者が自立した生活ができるよう介護の知識や技術の普及に努めました。



### 1) 支援員養成講習

番号	月 日	場 所	受講者数
	8月1日・2日・3日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	5
	12月3日・4日・11日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	4
	2月15日～17日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	26
	3月6日～8日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	29

2) 短期講習

番号	月 日	場 所	受講者数
1	4月25日	雄郡公民館	21
2	5月23日	松山赤十字病院	1
3	6月8日	松山市男女共同参画推進センターコムズ	27
4	7月5日	つどい場だんだん	15
5	7月11日	宇和島市総合福祉センター	33
6	7月15日	愛媛警察学校	76
7	8月5日	愛媛県在宅介護研修センター	39
8	8月7日	日本赤十字社愛媛県支部	13
9	8月9日	JA えひめ中央 伊予中央支所	18
10	8月9日	愛媛県在宅介護研修センター	4
11	8月18日	在宅介護研修センター	31
12	9月2日	愛媛県在宅介護研修センター	44
13	9月5日	JA 日土出張所	31
14	9月25日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	18
15	9月26日	松山市総合福祉センター	14
16	10月4日	三崎保健福祉センター	14
17	10月12日	松山赤十字病院	1
18	10月18日	西条市総合福祉センター	12
19	10月27日	西条市東予総合福祉センター	9
20	11月11日	松山市男女共同参画推進センターコムズ	21
21	11月14日	伊方町民センター	22
22	11月22日	今治市大西老人福祉センター	14
23	12月6日	新居浜市垣生公民館	12
24	12月12日	大洲市総合福祉センター	27
25	12月22日	愛媛県立新居浜南高等学校	20
26	2月1日	上部高齢者福祉センター	17
27	2月4日	中島総合福祉センター	256
28	2月6日	愛媛県在宅介護研修センター	10
29	2月17日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	26
30	3月8日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	29
31	3月12日	松山市西側集会所	37
32	3月13日	新居浜市声の図書室 やまびこ	30
合 計			942



## ⑥幼児安全法

少子高齢の時代に即応し、こどもを社会全体で大切に育てるために、こどもに起こりやすい事故の応急手当と予防、こどもの病気に対する看病の仕方の普及に努めました。



### 1) 支援員養成講習

番号	月 日	場 所	受講者数
1	7月16日・17日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	4
2	7月19日・20日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	7
	9月28日・29日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	中止
3	11月26日・27日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	10
4	1月14日・15日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	3
5	2月20日～22日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	25
6	3月1日～3日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	28
合 計			77

### 2) 短期講習

番号	月 日	場 所	受講者数
1	4月2日	生石保育園	19
2	4月21日	松山赤十字病院	4
3	5月19日	松山赤十字病院	5
4	6月1日	松前町総合福祉センター	14
5	6月14日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	26
6	6月16日	砥部町中央公民館	8
7	6月16日	松山赤十字病院	5
8	6月17日	道後聖母幼稚園	25
9	6月25日	平井保育園	17
10	6月25日	平井保育園	19

11	6月28日	東温市総合保健福祉センター	11
12	7月2日	番町幼稚園	34
13	7月8日	マミーズファミリー	42
14	7月9日	マミーズファミリー	64
15	7月21日	松山赤十字病院	4
16	8月4日	大護さとやま認定こども園	7
17	10月27日	NPO 法人輪い和い	9
18	10月26日	愛媛県男女共同参画センター	7
19	11月4日	松山東雲女子大学	36
20	11月17日	松山赤十字病院	2
21	11月18日	虹の森まつの保育園 地域子育て支援センター	11
22	11月21日	学校法人 三瓶幼稚園	22
23	12月20日	玉津公民館	10
24	1月13日	えいめ青少年ふれあいセンター	54
25	1月14日	認定こども園こどものくに保育園	6
26	2月14日	社会福祉法人 山路白鳩福祉会山路白鳩つどいの広場	20
27	2月16日	松山赤十字病院	4
28	2月22日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	25
29	3月3日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	28
30	3月4日	コープえひめ本部	14
31	3月16日	松山赤十字病院	5
32	3月25日	生石保育園	20
合 計			577

## ⑦保健福祉事業

地域の人々の健康と幸せのため、各種事業を実施いたしました。

### 1) 赤十字巡回健康講座

地域の方々の健康増進と、疾病の早期発見に役立つ知識の啓蒙・普及を図るため、医師等による講演・個別健康相談、看護師による生活指導や簡易検査を行っている事業ですが、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、開催が中止となった地域もありました。

実施状況は次のとおりです。

	開催日	場所	演題	参加者数
	8月30日	西条市 西条市東予総合福祉センター	老化と皮膚の病気	中止

	9月21日	宇和島市 宇和島市総合福祉センター	尿のトラブルについて	中止
1	10月5日	四国中央市 川之江ふれあい交流センター	高齢者の栄養（低栄養）	24
2	11月1日	鬼北町 近永公民館	認知症について	50
	1月25日	伊方町 生涯学習センター	認知症について	中止
3	2月24日	八幡浜市 八幡浜市文化会館（ゆめみかん）	かすみとゆがみを生じる 目の病気	70
合 計				144

## 2) ひだまり赤十字

高齢者の健康と自立した生活を地域で支えあうことを目指して、フレイル対策、ストレッチ体操、レクリエーションを行いました。感染対策を徹底し、ひとときでも地域の高齢者の皆様が交流し、笑顔過ごす時間の提供に努めました。

実施状況は次のとおりです。



	開催日	場 所	参加者数
1	12月6日	新居浜市 垣生公民館	7
合 計			7

## 3) んくもり子育て広場

乳幼児の子育て家族を支援するために、地域における昔遊びでの交流、子どもの食育・薬の使い方・虫歯予防・ベビーダンスなどから、地域の希望に合わせた講話と、幼児安全法のミニ講習、情報交換等を行いました。

実施状況は次のとおりです。



	開催日	場所	演題	参加者数
1	10月4日	今治市 NPO法人 輪い和い	だっこでステップ 幼児安全法短期講習	19
2	11月18日	松野町 虹の森まつの保育園 地域子育て支援センター	だっこでステップ 幼児安全法短期講習	31
2	1月16日	今治市 今治総合福祉センター	だっこでステップ	27
合 計				77

#### 4) 赤十字健康大学

長寿社会に向けた健康管理意識の普及・向上と、赤十字事業を広く理解していただくことを目的に松山赤十字病院との共催により、医師が講演を行っています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、開催が中止となった講演もありました。

実施状況は次のとおりです。

	開催日	演題	参加者数
	9月10日	健康に過ごすための予防学（総論）	中止
1	10月15日	膝の痛みについて	78名
2	11月5日	肺炎を予防しよう！	84名
	12月17日	検尿異常と腎臓病	中止
	1月21日	老化と皮膚の病気について	中止

3	2月18日	かすみとゆがみを生じる目の病気	56名
合 計			218名

### 5) 手つなぎ防災ひろば

地域赤十字奉仕団、青少年赤十字加盟校、地区・分区及び日本赤十字社愛媛県支部が協働し、防災講座、非常食の炊き出し、応急手当等を行いました。

この活動を通じて、異なる世代の交流を図るとともに、地域内の連携強化し、助け合うことの大切さを学びました。

実施状況は次のとおりです。

	奉仕団及び加盟校	開催日	場 所	参加者数	参加者数
1	伊方赤十字奉仕団 伊方町立伊方小学校	11月24日	伊方町立 伊方小学校	奉仕団員	4
				青少年赤十字メンバー	54
				青少年赤十字指導者	5
				地区関係者	3
				保護者	0
				その他	8
				支部	1
計	75				
2	四国中央市 川之江赤十字奉仕団 四国中央市立金生第一小学校	11月29日	四国中央市 金生公民館	奉仕団員	13
				青少年赤十字メンバー	44
				青少年赤十字指導者	4
				地区関係者	3
				保護者	0
				その他	0
				支部	1
計	65				
3	四国中央市 伊予三島赤十字奉仕団 四国中央市立三島小学校	12月5日	四国中央市立 三島小学校	奉仕団員	7
				青少年赤十字メンバー	37
				青少年赤十字指導者	8
				地区関係者	3
				保護者	6
				その他	10
				支部	2
計	73				
4	四国中央市 伊予三島赤十字奉仕団 四国中央市立寒川小学校	12月13日	四国中央市立 寒川小学校	奉仕団員	4
				青少年赤十字メンバー	40
				青少年赤十字指導者	4
				地区関係者	3
				保護者	4
				その他	4
				支部	1
計	60				

5	四国中央市 伊予三島赤十字奉仕団 四国中央市立三島小学校	12月20日	四国中央市立 中曽根小学校	奉仕団員	4
				青少年赤十字メンバー	41
				青少年赤十字指導者	3
				地区関係者	3
				保護者	1
				その他	5
				支部	1
				計	58
6	四国中央市 伊予三島赤十字奉仕団 四国中央市立松柏小学校	1月31日	四国中央市立 松柏小学校	奉仕団員	1
				青少年赤十字メンバー	81
				青少年赤十字指導者	6
				地区関係者	4
				保護者	1
				その他	0
				支部	2
				計	95
合計					426

### 3. 赤十字奉仕団、ボランティア活動

#### (1) 活動概要

赤十字奉仕団は、赤十字の人道的諸活動を通じて、社会のために役立ちたいという善意の人々が集まって組織された団体であり、地域あるいは職域の実践団体として身近な奉仕活動を行い、地域住民の福祉につながる社業の推進に大きな役割を果たしています。

地域奉仕団は、赤十字奉仕団愛媛県支部委員会のもと、モデル奉仕団の指定、赤十字奉仕団活動用物品助成金、地域赤十字奉仕団リーダー養成研修会開催等により奉仕団活動の普及に努めています。これまで、新型コロナウイルス感染症の影響で、思うような活動ができていませんでしたが、今年度は少しずつ以前の活動に取り組むことができた奉仕団も増えてきました。青年・学生奉仕団は、支部イベントのスタッフ協力や献血推進運動への協力に努め、特殊奉仕団は、各団の特色や各団員の技能を活かした活動に努めています。

また、青少年赤十字メンバーや学生赤十字奉仕団員のOB・OGによって構成されている個人ボランティアも、再始動のチャンスを伺っています。

結成状況及び事業概要は次のとおりです。

#### (2) 奉仕団等の編成、人数等

種別	団数	人数
地域赤十字奉仕団	54	11,203
青年(学生)赤十字奉仕団	6	98
特殊赤十字奉仕団	3	289
合計	63	11,590



①地域赤十字奉仕団

奉仕団名		備考
松山市		2団
内訳	松山市	
	松山市北条	
今治市		11団
内訳	今治市今治	
	今治市玉川	休団中
	今治市波方	
	今治市大西	
	今治市菊間	
	今治市吉海	
	今治市宮窪	
	今治市伯方	
	今治市上浦	
	今治市大三島	休団中
	今治市関前	休団中
宇和島市		4団
内訳	宇和島市宇和島	
	宇和島市吉田	
	宇和島市三間	
	宇和島市津島	
八幡浜市		1団
内訳	八幡浜市・八幡浜保	
新居浜市		1団
内訳	新居浜市	
西条市		3団
内訳	西条市西条	
	西条市東予	
	西条市周桑	
大洲市		2団
内訳	大洲市大洲	
	大洲市肱川	
伊予市		1団
内訳	伊予市	
四国中央市		3団
内訳	四国中央市川之江	
	四国中央市伊予三島	
	四国中央市新宮	

奉仕団名		備考
西予市		4団
内訳	西予市明浜	休団中
	西予市宇和	休団中
	西予市城川	
	西予市三瓶	休団中
東温市		1団
内訳	東温市	
上島町		4団
内訳	上島町魚島	
	上島町弓削	
	上島町生名	
	上島町岩城	
久万高原町		4団
内訳	久万高原町久万	
	久万高原町面河	
	久万高原町美川	
	久万高原町柳谷	
松前町		1団
内訳	松前町	
砥部町		1団
内訳	砥部町	
内子町		1団
内訳	内子町	
伊方町		3団
内訳	伊方町伊方	
	伊方町瀬戸	
	伊方町三崎	
松野町		1団
内訳	松野町	
鬼北町		1団
内訳	鬼北町	
愛南町		5団
内訳	愛南町内海	休団中
	愛南町御荘	
	愛南町城辺	
	愛南町一本松	
	愛南町西海	休団中

②青年(学生)赤十字奉仕団

奉仕団名		備考
青年 ・ 学 生	青 年	
	愛媛大学	
	松山大学	
	聖カタリナ大学	
	愛媛県立医療技術大学	
	松山東雲女子大学	休団中

③特殊赤十字奉仕団

奉仕団名		備考
特 殊	アマチュア無線	
	安 全	
	青少年赤十字賛助	



(3) 会議、研修、訓練

行 事	期 日	場 所	参加者数
赤十字奉仕団委員長会議・研修会	4月19日	資料配布	
赤十字奉仕団中央委員会	5月30～31日	WEB開催	1
第5ブロック青年赤十字奉仕団連絡協議会	6月4～5日	香川県	2
青少年赤十字賛助奉仕団総会	6月	資料配布	
安全赤十字奉仕団総会	6月11日		87
HIV/AIDSピアエデュケーションオンラインセミナー(青奉対象)	6月12日	WEB開催	3
青年赤十字奉仕団連絡協議会総会・研修会	6月18日		22
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会・総会	7月14～15日	東京都	1
ボランティア・リーダー研修会(青年奉)	8月27日～28日	WEB開催	1
第5ブロック赤十字奉仕団協議会	9月27日	WEB開催	1
南予地域赤十字奉仕団リーダー養成研修会	10月4日		36
第5ブロック青少年赤十字賛助奉仕団 連絡協議会・研修会	10月28日～29日	広島県	3
第5ブロック青年赤十字奉仕団研修会	11月19～20日	岡山県	1
青少年赤十字創設100周年記念愛媛県大会	11月19日	赤十字奉仕団員 60 青少年赤十字 120	
第5ブロック赤十字奉仕団研修会	12月1～2日	参加取り止め	
NHK海外たすけあい街頭募金	12月11日	中 止	
赤十字奉仕団愛媛県支部委員会・役員会	1月26日		12
ボランティア・リーダー研修会(地域奉)	1月28～30日	東京都	1



愛媛マラソン救護ボランティア	2月12日	24	
赤十字手つなぎボランティア	通年	県下各地	3,315

## 4. 青少年赤十字

### (1) 活動概要

青少年赤十字は、児童生徒が世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中で望ましい人格と精神を自ら形成することを目的として、学校・保育所(園)・幼稚園に組織され、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3項目を実践目標に活動しています。

また、青少年赤十字は令和4年5月5日に創設から100年を迎えました。「未来のあなたへ、やさしさを。」をスローガンに全国的に様々な記念事業が行われました。当県においても記念バッジの配布や記念旗への寄せ書き、記念大会の開催など多くの事業を実施しました。次の100年に向けて「気づき、考え、実行する」児童生徒の育成により一層努めて参ります。

その他、例年に引き続き青少年赤十字防災教育教材「まもるいのち ひろめるぼうさい」及び「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん!」の普及にも取り組んでいます。

加盟状況及び事業概要は次のとおりです。



### (2) 加盟校概要

令和4年度 新加盟校 1校(小1)  
※ ◎印は新加盟、無印は継続加盟

市町別	校数	校種	学 校 名				
四国中央市	12	こ	愛和	緑ヶ丘			
		小	川之江	金生第一	上分	妻鳥	松柏
			三島	中曾根	中之庄	寒川	
	中	三島西					
新居浜市	11	小	金子	高津	惣開	垣生	神郷
			泉川	◎中萩			
		中	西	泉川	中萩		
	高	新居浜西					
西条市	7	保	中川さくら	めぐみ			
		幼	めぐみ				
		小	三芳	中川			
		中	西条北				
	高	西条					

今治市	44	保	白鳩				
		こ	しまなみの杜	晴心	空と海		
		小	吹揚	別宮	常盤	近見	立花
			桜井	富田	清水	日高	乃万
			波止浜	鳥生	国分	朝倉	鴨部
			九和	波方	大西	亀岡	菊間
			吉海	宮窪	伯方	上浦	大三島
			岡村				
		中	日吉	近見	立花	桜井	南
			西	北郷	朝倉	玉川	大西
菊間	大島		伯方	大三島			
上島町	7	小	魚島	弓削	生名	岩城	
		中	魚島	弓削	岩城		
松山市	78	保	生石	堀江	平井	えひめ乳児	ひよこ
		幼	愛大附属	道後聖母	番町	梅花	桃山
		こ	こどものくに	虹のそら	もものはな	愛媛	愛媛星岡
			さくら	花園	大護さとやま	松山星岡	コイノニア
		小	愛大附属	番町	味酒	八坂	東雲
			新玉	清水	雄郡	素鷲	堀江
			潮見	久枝	和気	三津浜	宮前
			高浜	味生	桑原	生石	道後
			湯築	余土	湯山	伊台	久米
			小野	たちばな	椿	北久米	味生第二
			さくら	みどり	福音	姫山	浅海
			難波	立岩	正岡	北条	河野
			栗井	中島			
			中	雄新	鴨川	津田	余土
		南		北条南	北条北	松山東雲	
		高	愛大附属	北条	松山南	松山商業	新田
			松山聖陵	松山東雲			
		東温市	20	保	南吉井	双葉	拝志
幼	重信			川上	東谷	西谷	
こ	北吉井						
小	北吉井			南吉井	拝志	上林	川上
	東谷			西谷			
中	重信			川内			
高	東温						
伊予市	12	小	南山崎	北山崎	郡中	伊予	中山
			佐礼谷	下灘	由並	翠	
中	港南	中山	双海				
松前町	5	こ	エンゼル				
		小	北伊予	岡田	松前		
高	伊予						
砥部町	5	小	麻生	宮内	砥部	広田	
		中	砥部				
久万高原町	12	幼	仕七川				

		小	明神 面河	久万 仕七川	畑野川 美川	直瀬 柳谷	父二峰
		中	久万	美川			
大洲市	15	保	喜多 大和	粟津 白滝	新谷 長浜	南久米	徳森
		こ	大洲	菅田	五郎	肱川	東大洲
		小	粟津				
		中	大洲東				
内子町	3	幼	内子				
		小	石畳	天神			
八幡浜市	9	小	松蔭 双岩	白浜 喜須来	神山 川の石	日土 宮内	川上
		小	伊方	九町	三机	大久	三崎
伊方町	8	中	伊方	瀬戸	三崎		
		保	西予市俵津	西予市野村			
西予市	22	幼	野村	惣川			
		こ	三瓶				
		小	明浜	多田	中川	石城	宇和町
			皆田	田之筋	野村	大野ヶ原	惣川
		中	城川	三瓶			
宇和島市	13	幼	村井				
		こ	いぶき				
		小	明倫	宇和津	鶴島	天神	和霊
			住吉	高光	三間	二名	
		中	城南				
		高	宇和島東				
松野町	3	小	松野東	松野西			
		中	松野				
鬼北町	3	小	好藤	三島	近永		
愛南町	20	保	家串	御荘	はまゆう乳児	緑	一本松
			船越				
		幼	あいなん				
		小	家串	柏	平城	長月	城辺
			緑	久良	一本松	篠山	福浦
			船越				
中	御荘	篠山					



校種	校(所・園)数	メンバー数
保育所	29	1,941
幼稚園	16	1,512
こども園	24	3,514
小学校	176	46,778
中学校	52	13,520

高等学校	12	478
計	309	67,743

### (3) 青少年赤十字メンバー対象の連絡協議会、トレーニングセンター

行 事	期 日	場 所	参加者数
第1回高等学校青少年赤十字協議会	5月21日	日赤愛媛県支部	40
青少年赤十字高校生・中学生・小学生 合同トレーニング・センター	7月30日	えひめ青少年ふれあい センター	27
第2回高等学校青少年赤十字協議会	10月16日	日赤愛媛県支部	28
青少年赤十字創設100周年記念国際交流事業	第1部10月2日 第2部11月5日～6日	WEB開催	8
青少年赤十字創設100周年記念愛媛県大会	11月19日	えひめ青少年ふれあい センター	100
青少年赤十字スタディー・プログラム	第1部3月21日 第2部3月25日	第1部WEB開催 第2部東京本社	-
赤十字手つなぎボランティア	通年	県下各地	3,315

### (4) 指導者対象の協議会、研修

行 事	期 日	場 所	参加者数
愛媛県青少年赤十字指導者協議会 総会・研修会	4月22日	文書審議	
第1回青少年赤十字常任委員会	5月14日	日赤愛媛県支部	17
青少年赤十字高等学校指導者協議会	5月21日	日赤愛媛県支部	10
青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	6月29日	WEB開催	1
青少年赤十字指導者講習会	7月25日	えひめ青少年ふれあい センター	8
第2回青少年赤十字常任委員会	8月20日	日赤愛媛県支部	20
第64回青少年赤十字研究会	10月28日	愛南町立一本松小学校	61
第5ブロック青少年赤十字指導者協議会長並びに青少年赤十字事務担当者会議	11月10日 ～11日	島根県松江市	2
第3回青少年赤十字常任委員会	2月18日	日赤愛媛県支部	19
愛媛県青少年赤十字だより	年1回	2,500部発行	

## 5. 国際活動

日本赤十字社は、国際赤十字の一員として、世界各地で発生している地震や干ばつ、洪水等自然災害や紛争などで苦しんでいる人々に対し、赤十字・赤新月社連盟、赤十字国際委員会及び各国赤十字・赤新月社と連携して、赤十字諸原則に基づき、救護・救援活動に取り組んでいます。

当支部では、これら日本赤十字社が行う国際活動の内、次の活動に参画しました。

### ○アジア・大洋州 給水・衛生キット支援事業

近年、洪水やサイクロンなどの災害が近年世界的に増加し、安全な飲料水の供給や衛生状態の改善など、災害時の給水・衛生活動のニーズが高まっています。

日本赤十字社は、平成 23 年度から、災害発生時に迅速に給水・衛生活動が展開できるよう「給水・衛生災害対応キット」を整備し、災害多発国又は地域に配備するとともに当該地域・国の赤十字社とともにスタッフの研修を行っています。災害発生時には要員を現地に派遣し、現地の赤十字社とともに給水・衛生活動を行います。日本赤十字社中国・四国 9 県支部はこれらの事業に対し、総額 700 万円(当支部負担 829,165 円)を援助しました。

## 6. 医療事業

大正 2 年に日本赤十字社愛媛支部病院（現 松山赤十字病院）を開設して以来、医療事業を継続してまいりました。松山赤十字病院は県内唯一の赤十字病院として、その特色を発揮するとともに、松山医療圏における地域医療支援病院として、他の医療機関と連携を図りながら地域住民に安全・安心な医療を提供できるよう努めております。

平成 26 年度に着手した新病院建設事業は、平成 30 年 1 月に北棟がオープン、令和 3 年 3 月に南棟が全面オープンし、令和 4 年 12 月 26 日にグランドオープンを迎えました。グランドオープンに先立ち令和 4 年 12 月 25 日に新病院グランドオープンセレモニー並びに松山赤十字看護専門学校閉校記念碑除幕式を執り行いました。新病院は、自然エネルギー（太陽光、自然換気等）を活用し、様々な省エネ技術を取り入れ、CO<sub>2</sub>排出と消費電力を従来の病院平均より大幅に削減したことに加え、免震構造、快適な医療環境を備えた病院であること



新病院全体写真



グランドオープンセレモニー

が世界的に高い評価を受け、2022年国際病院連盟賞（IHF アワード）グリーン・ホスピタル部門で金賞を受賞しました。

新しくなった病院とともに気持ちを新たに、患者さんにより質の高い医療を提供できるよう邁進してまいります。



IHF アワード 2022 授賞式

【基本理念】 「人道」の赤十字精神に基づき、地域医療に貢献します。

#### 【基本方針】

1. 安全文化  
安全な医療を最優先とし、医療の質向上に努めます。
2. 地域連携  
高度な急性期医療を実践し、地域の連携に努めます。
3. 災害医療  
災害医療に対応し、国際活動への貢献に努めます。
4. 人材育成  
職場環境を整備し、人材の確保と育成に努めます。
5. 健全経営  
安定した経営基盤を構築し、健全化に努めます。

#### 【病院概要】（令和4年度実績）

許可病床数 / 585 床

診療科目数 / 34 診療科

職員数 / 1,522 人（医師 215 人・看護師 763 人・その他 544 人）

患者数 / （外来）延患者数 396,115 人 ・ 1日平均 1319.7 人

（入院）延患者数 185,914 人 ・ 1日平均 509.4 人

## 7. 血液事業

当支部においては、昭和40年3月に愛媛県赤十字血液センターを開設し、病気やけが等で輸血を必要としている患者さんの尊い生命を救うため、愛媛県をはじめ市町関係機関及び県民の皆様のご理解・ご協力によって、血液製剤の安全性の向上と安定的な供給に努めております。

また、愛媛県では次代の献血を担う、若年層への献血啓発にも力を入れておりますが、当期は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、集合型イベントの制限及び「いのちの講座」についても、リモート手段を利用して実施しました。

【基本理念】 血液製剤を必要としている方の尊い生命を救うため 需要に応じた献血血液を安定

的に確保し 安全性・品質向上に取り組み 献血者の皆様の想いを届けます  
令和4年度の献血者数は次のとおりです。



クリスマス献血キャンペーン



いのちの講座 (リモート)

献血種類	献血者数
200m L 全血献血	98 人
400m L 全血献血	35,847 人
血漿成分献血	12,587 人
血小板成分献血	5,109 人
合 計	53,641 人

## 8. 赤十字思想の普及・広報

### 赤十字思想の普及

社業の進展は、県民の理解と協力によって支えられており、情報機関への赤十字思想普及及び協力依頼を図るために、赤十字運動月間中に松山市役所別館と松山市社会福祉協議会に懸垂幕を掲示したほか、市内電車の窓上広告の掲示やラジオCMの放送などを実施しました。

また、公式インスタグラムの運用を開始し、イベントの告知や報告をはじめ、より多くの方に赤十字事業を知っていただくために様々な記事を投稿しました。

そのほか、年間を通じて、次のような機関誌、印刷物等により赤十字思想の普及に努めるとともにホームページなどで積極的にイベント・講習情報を発信しました。

- ①機関誌・・・赤十字新聞(毎月発行) 1,200部(5月と12月は1,000部追加)
- ②印刷物・・・ポスター(赤十字運動用) 1,800枚
- リーフレット 11,000枚
- 広報用チラシ 374,000枚

## 9. 会員、活動資金

日本赤十字社は、会員および協力会員の支援者から拠出される活動資金によって、国内災害救護事業や救急法等の各種講習などの事業を実施しており、その活動資金の募集は、主に自治会、奉仕団、法人、個人寄付者の皆さまのご協力によって支えられています。

令和4年度は、ウクライナ情勢による経済に与える影響や、地域コミュニティの変化など厳しい状況が続く中、ダイレクトメールによる寄付の拡充や近年増加傾向にある遺贈・相続財産寄付に対応すべく、赤十字終活セミナーを開催するなど、寄付市場をモニタリングし、それぞれに見合った施策を講じました。

### (1) 会員概要

赤十字会員とは、日本赤十字社の目的に賛同し、支援してくださる方々のことです。会員は、自ら加入の意志があり、会費として年額2,000円以上のご協力をいただくことにより、個人・法人を問わず、加入することができます。

また、愛媛県支部においては、広く赤十字を支えてくださる支援者を募るため、年額500円以上のご協力を目安とした協力会員へのご加入も広く募集しております。

日本赤十字社の活動は、支援くださる皆さまによって支えられているため、一人でも多くの方に赤十字活動をご理解いただき、ご協力をお願いしております。

### (2) 社資概要

市町名	目標額 (円)	実績額 (円)			対目標額(円)	達成率 (%)	
		地区分区分募集分	本社直轄分	計			
市	松山市	64,643,600	46,124,004	1,507,000	47,631,004	△17,012,596	73.7
	今治市	22,123,400	18,275,695	987,000	19,262,695	△2,860,705	87.1
	宇和島市	10,991,200	8,625,284	223,000	8,848,284	△2,142,916	80.5
	八幡浜市	5,244,600	4,752,979	189,000	4,941,979	△302,621	94.2
	新居浜市	16,155,600	10,023,840	310,000	10,333,840	△5,821,760	64.0
	西条市	15,514,200	12,296,992	173,000	12,469,992	△3,044,208	80.4
	大洲市	6,471,200	5,525,084	45,000	5,570,084	△901,116	86.1
	伊予市	5,523,600	4,581,002	168,000	4,749,002	△774,598	86.0
	四国中央市	12,225,600	13,246,768	71,000	13,317,768	1,092,168	108.9
	西予市	5,966,200	5,546,495	17,000	5,563,495	△402,705	93.3
町	東温市	4,736,600	4,105,406	71,000	4,176,406	△560,194	88.2
	上島町	963,800	1,037,500	60,000	1,097,500	133,700	113.9
	久万高原町	1,346,600	1,241,400	7,000	1,248,400	△98,200	92.7
	松前町	4,191,200	4,364,490	46,000	4,410,490	219,290	105.2
	砥部町	3,100,000	2,193,600	92,000	2,285,600	△814,400	73.7
	内子町	2,633,600	2,638,400	29,000	2,667,400	33,800	101.3
	伊方町	1,575,200	1,881,316	13,000	1,894,316	319,116	120.3
	松野町	547,800	577,000	0	577,000	29,200	105.3
鬼北町	1,590,800	1,260,462	0	1,260,462	△330,338	79.2	



	愛南町	3,257,200	2,739,500	0	2,739,500	△517,700	84.1
支部	一般		—	—	26,565,852	—	—
	ダイレクトメール		—	—	6,549,000	—	—
	小計	12,000,000	—	—	33,114,852	—	—
	県合計	200,802,000	151,037,217	4,008,000	188,155,109	△12,646,891	93.7

(※病院への使途指定寄付金は除く。)

### 社業振興に伴う会議・研修会

会議・研修会名	開催日・会場	議題及び研修内容
地区分区職員研修会	令和4年4月21日 愛媛県支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動資金募集に伴う事務処理等について</li> <li>・地区分区交付金について</li> <li>・各種事業について</li> </ul>
地区・分区長並びに 地区・分区主管課長合同 会議	令和5年1月20日 愛媛県支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度予算・事業計画について</li> <li>・令和5年度活動資金募集目標額(案)について</li> </ul>

### (3) 赤十字終活セミナー

近年、平均寿命が延びてきて、老後の期間が長くなったことなどから「終活」を行う方が年々増えています。終活に対する思いは人それぞれですが、「具体的に何をしたら良いか分からない」という方は多いと聞いております。そこで日赤では、地域の皆さまを対象に、終活について理解を深め、老後の不安を解消するためのセミナーを開催しました。



### (4) 赤十字大会

令和4年5月19日(木) 神宮会館にて皇后陛下ご臨席のもと、例年より規模を縮小して3年ぶりの開催。

## 10. 役員・評議員会

### (1) 愛媛県赤十字有功会の活動

愛媛県赤十字有功会は、日本赤十字社有功章を受章された方々で組織され、赤十字の人道的任務を支援し、赤十字事業の伸展に寄与することを目的に活動しています。

令和3年度は、青少年赤十字創設100周年記念缶バッジの作製に対し、助成いただきました。

令和4年3月末現在の会員数は、個人56名、法人112社、計168会員です。

### (2) 令和4年度会計監査・業務監査(5月31日)

監査委員による、愛媛県支部及び松山赤十字病院の令和3年度会計監査並びに愛媛県赤十字血液センターの令和3年度業務監査を、松山赤十字病院において実施し、いずれも適正に処理されているとの監査結果でありました。

- ① 令和3年度一般会計歳入歳出決算について
- ② 令和3年度医療施設特別会計歳入歳出決算について
- ③ 令和3年度血液事業報告について

### (3) 令和4年度第1回評議員会(6月6日)

日本赤十字社愛媛県支部において開催、次の議案を審議し承認されました。

- 第1号議案 令和3年度一般会計歳入歳出決算について
- 第2号議案 令和3年度医療施設特別会計歳入歳出決算について
- 第3号議案 令和3年度血液事業報告について

### (4) 令和4年度第2回評議員会(2月7日)

日本赤十字社愛媛県支部において開催、次の議案を審議し承認されました。

- 第1号議案 令和5年度一般会計歳入歳出予算(案)について
- 第2号議案 令和5年度医療施設特別会計歳入歳出予算(案)について
- 第3号議案 令和5年度血液事業計画(案)について

# 役 員

(令和5年2月7日現在)

役 名	氏 名	職 名
支 部 長	中村 時広	愛媛県知事
副 支 部 長	菅 規行	愛媛県保健福祉部長
〃	武智 邦典	愛媛県市長会会長
〃	佐川 秀紀	愛媛県町村会会長
監 査 委 員	松原 剛史	松山市副市長
〃	土居 忠博	今治市副市長
〃	水野 邦洋	公認会計士
地区選出評議員	福山 勝幸	松山市地域協働団体連絡会会長
〃	大木 隆史	松山市社会福祉担当部長兼福祉事務所長
〃	西市 裕二	松山市社会福祉協議会常務理事
〃	菅 忠則	今治市連合自治会副会長
〃	森田 悦子	今治市連合婦人会副会長
〃	宮本 直明	宇和島市連合自治会会長
〃	松本 京子	八幡浜市・八幡浜保内赤十字奉仕団顧問
〃	小野 正師	新居浜市社会福祉協議会会長
〃	伊藤 優子	新居浜市議会議員
〃	眞鍋 美知子	西条市西条赤十字奉仕団員
〃	福住 隆敏	大洲市社会福祉協議会会長
〃	篠崎 和子	伊予市赤十字奉仕団員
〃	石川 祐子	四国中央市伊予三島赤十字奉仕団委員長
〃	宗 正弘	西予市社会福祉協議会会長
〃	中村 英子	東温市赤十字奉仕団委員長
〃	宮川 阪光	上島町社会福祉協議会会長
〃	佐藤 理昭	久万高原町副町長
〃	徳居 芳之	松前町副町長
〃	岡田 洋志	砥部町副町長
〃	山岡 敦	内子町副町長
〃	濱松 一良	伊方町副町長
〃	八十島 温夫	松野町副町長
〃	井上 建司	鬼北町副町長
〃	木原 荘二	愛南町副町長
支部長選出評議員	高橋 祐二	愛媛県商工会議所連合会会頭
〃	河田 正道	愛媛県社会福祉協議会会長
〃	野本 政孝	愛媛経済同友会代表幹事
〃	高橋 英行	愛媛県議会環境保健福祉委員会委員長
〃	三好 康子	赤十字奉仕団愛媛県支部委員会委員長
本 社 代 議 員	松原 剛史	松山市副市長
〃	鈴木 暉三弘	新居浜市社会福祉協議会元会長
〃	岡上 昌造	西予市社会福祉協議会常務理事
〃	三好 康子	赤十字奉仕団愛媛県支部委員会委員長
本 社 理 事	鈴木 暉三弘	新居浜市社会福祉協議会元会長

## 11. 令和4年度一般会計歳入歳出決算概要

(単位：千円)

科目	決算額
活動資金収入	224,760
補助金及び交付金収入	5,445
繰入金収入	2,740
雑収入	3,213
前年度繰越金	68,408
<b>歳入計</b>	<b>304,566</b>
災害救護事業費	16,380
社会活動費	32,633
国際活動費	2,849
指定事業地方振興費	2,520
地区分区交付金支出	24,655
社業振興費	31,287
基盤整備交付金支出	24,530
積立金支出	51,857
総務管理費	31,312
資産取得及び資産管理費	9,643
本社総納金	33,006
翌年度繰越金	43,894
<b>歳出計</b>	<b>304,566</b>

※災害義援金は除く

施 設 一 覧

施 設 名	所 在 地	電 話 番 号
日本赤十字社愛媛県支部	〒790-0854 松山市岩崎町二丁目3番40号	089-921-8603 945-6792
松山赤十字病院	〒790-8524 松山市文京町1番地	089-924-1111
愛媛県赤十字血液センター	〒791-8036 松山市高岡町80-1	089-973-0700
愛媛県赤十字血液センター 大街道献血ルーム	〒790-0004 松山市大街道1丁目4-17	089-932-0900